日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2011. 12. 18

No.11-053

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

12. 17「航空産業の公共性を考える」シンポジューム報告

学識経験者・マスコミ・航空労働者を含む 145 名の参加

12 月 17 日「航空産業の公共性を考える」シンポジューム（同実行委員会主催）が、新橋スター会議室において、学識経験者・マスコミ・航空労働者等を含む 145 名（集会報告）が参加し開催されました。

醍醐東大名誉教授の開会の挨拶に始まり、作家の柳田邦男さんの「『安全の層』と経営の取り組み～組織事故の視点から～」の基調講演、パネリスト安部誠治関西大学教授・奥平隆元全日空機長・米倉勉弁護士の冒頭発言と柳田さんも参加したパネリストとのクロス討論、会場からの質問･意見表明・航空の職場の状況報告が行われるなど 3 時間 30 分余りに及ぶ盛り沢山の内容となりました。

会場からは、航空に働く現場労働者から規制緩和以後の労働環境特に日本航空の整理解雇が行われた後の職場の状況やLCC が参入する状況下での問題点が指摘されました。

東大名誉教授　醍醐聰氏

ノンフィクション作家　柳田邦男氏

左から関西大学教授　安部誠治氏、元全日空機長　奥平隆氏、弁護士　米倉勉氏

（プログラム）

開会挨拶　　醍醐　聰さん　東大名誉教授
基調講演　　柳田邦男さん　ノンフィクション作家
演題「安全の層」と経営の取り組み
～組織事故の視点から～
パネリスト紹介　（司会進行）醍醐　聰さん

① 安部誠治さん　関西大学教授

② 奥平　隆さん　元全日空機長

③ 米倉　勉さん　弁護士

パネリスト間の討論、参加者からの質問・意見

多くの OB 乗員有志の会メンバーが参加していました。

その感想の一部を紹介します。
「阿部教授の指摘があった具体的なデータを下に指摘すると客観性が有り一般の方も分かりやすくなるだろう。この指摘に対して、日常的に発生しているエラー報告数や労働条件対比表最新版が必要だ。」
「柳田さんが言っていた『なぜ・なぜ解析』を職場で実践すると良い。」
「健全な労働組合の重要性が認識でき、日本航空の整理解雇撤回が是非必要だ。」
「乗員の訓練が停止している事実を安全運航の観点から追及すべきではないか。
技術の伝承で年齢構成はもちろん教育体制にも空白断層が起こるので復活が厳しくなる。」
「アメリカの LCC は、年金や保険など低コスト・回転率・路線限定・燃料ヘッジ資金で参入したが、30%シェアーで停滞、逆に経営が苦しくなっているとの事。安全に関してもう少し詳しく知りたい。」
「今後も、航空産業の健全な発展の為に、シンポジューム等の取り組みを続けて欲しい。」

職場の現状報告をする参加者